



NPO法人こどもとむしの会

平成30年度（2018年度）事業報告書

A 子どもと虫に関連する普及啓発事業

A-1 いどうこんちゅうかん

昆虫館や博物館に出かけるチャンスのない子どもたちのもとにも、「いどうこんちゅうかん」というビックリ箱をとおして「ほんものたいけん」を届けます。

平成30年度は20ヶ所で開催しました。参加者総数は約4,400人。こどもとむしの会のスタッフは のべ113人でした。神戸市児童館派遣事業は23年度から8年目です。

(吉岡)



- (左上) いどうこんちゅうかん (横尾児童館)
- (右上) むしのおえかき (桃山台児童館)
- (左下) ミュージアムキッズ全国フェア (京都みやこめッセ)
- (右下) むしむしキャンプ (国立淡路青少年交流の家)

平成30年度（2018年度）いどうこんちゅうかんの内容

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
5月15日 (午前)	佐用町立利神保 育園	47人（園児 33人・利神小学 校1年生6人/取 材スタッフ他8 人）	久保・近藤・斎 藤・野村・吉岡	佐用の「いどうこんちゅうかん」の2年目。5月の空 にこいのぼりがさわやかに泳ぐ。近藤さんの紙芝 居『むしのおやこ』にも大きな声で答え、虫やイモ リ・カメをいっぱいさわってくれた。ケーブルTVの 取材も来る。
5月15日 (午後)	佐用町立上月保 育園	49人 (園児44人)	久保・近藤・斎 藤・野村・吉岡	午後は上月保育園。子どもたちはいろいろな生き物 を、おおはしゃぎでさわっていた。物おじしない子 供たちの元気が楽しい。
6月4日	神戸大学附属小 学校	70人（1年生68 人）	池田・八田・久 保・宇野・吉岡	国語の単元と「いどうこんちゅうかん」を組み合わ せる初めての依頼。1年生2クラスを対象にまず「い どうこんちゅうかん」を実施。その後「くいずぶく 」を作るお手伝い。5月22日の虫採りでは多数の子 が虫をさわれなかったが、時間ほどでガの幼虫も 「かわいい」とさわれるようになる。今後の工夫が 必要な依頼だった。
6月10日	棚倉町文化セン ター倉美館（福 島県棚倉町）	約120人（総来 場者数：約600 人）	阪上・溝手・吉 岡/佐々木・高 橋・小針・川 手・薄葉	「こども☆ひかりひよこミュージアム in たなぐらま ち」に『むしとり大作戦』で参加。昨年はベビーカ ーを押しての参加者も多数いたのでベースを建物外 に置くが気温も17℃と低く天候も悪い。1時間ほどの 虫採り。午後からは雨が降り出したので雨天バージ ョンでテントの下にカヤを張り、生き虫展示も始め る。幼児たちも虫網をふるって満足げだった。
8月10日	しあわせの村	約300人	八田・久保・室 崎・宇野・内 田・吉岡	7年目の開催。プール帰りの子どもたち、チラシを見 て来たという家族、毎年来ているという固定客 (?)が来場。同じ場所での継続の大切さを感じ る。たくさん子ども・大人・おじさんおばあさ んが楽しんでくれた。
8月17日	宝塚大学	102人（子ども 63人・大人39 人）	八田・斎藤・池 田・宇野・溝 手・吉岡	宝塚キャンパスで地域の子どものための「ムシ にふれてムシたいけん」を初めて開催する。予算も ついてヘラクレスなど生き虫も購入。チラシで一般 募集されたのでいろんな方が来場。好き嫌いもある のか早々に帰られる方、いつまでもいらっしゃる方 と様々。会場が広く動線に問題があったかも。次回 への課題。
8月20日 (午前)	神戸市立横尾児 童館（須磨区）	73人 (小学生55人・ 幼児5人)	八田・室崎・溝 手・坂本・吉岡	8月20・22・23の3日間は神戸市児童館派遣事業。今 年も高倍率の抽選で当たった6館へ行く。初日の横尾 児童館は2回目の訪問。先生方が「いどうこんちゅう かん」を理解してくれているのでスムーズに進行で きた。横尾コーナーからも16人が参加。（神戸市児 童館派遣事業）

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
8月20日 (午後)	神戸市立松風児童館(須磨区)	63人 (小学生60人・ 幼児2人)	八田・室崎・溝手・坂本・吉岡	午後は須磨水族館の近くの松風児童館へ。外気温がとてつもなく高かったが室内はクーラーで快適。タガメ・セスジスズメの幼虫・オオゴキブリも抵抗なく手に乗せてくれる。(神戸市児童館派遣事業)
8月21日 (午後)	神戸市立桃山台児童館(垂水区)	120人 (小学生82人・ 幼児17人)	近藤・室崎・溝手・坂本・吉岡・大久保(博物館実習)	直接依頼による9年連続の開催。午前中に子どもたちが採ってくれたセミをカヤに放す。今年度新設された下畑台コーナーからも19人が参加。虫慣れした子どもたちがおおいに楽しむ。
8月22日 (午前)	神戸市立井吹北コーナー(西区)	49人 (小学生45人)	池田・八木・室崎・溝手・吉岡	「むしむし小話」は溝手くんの『ぼくの好きなハチの話』子どもたちはハチが苦手な様子。なぜ刺すのか、どこで刺すのかなど、子どもたちは引き込まれていた。 (神戸市児童館派遣事業)
8月22日 (午後)	神戸市立枝吉児童館(西区)	134人 (小学生30人・ 保育園児90人)	池田・八木・室崎・溝手・吉岡	昼から気温がぐんぐん上がり恐ろしい暑さになる。小学生がゆったり楽しんでるところへ、お昼寝から覚めた隣の保育園児90人が合流。幼い子たちにも小学生がやさしくしていた。むしむし大博士は池田くん。たくさんの質問が出る。 (神戸市児童館派遣事業)
8月23日 (午前)	神戸市立本多間児童館()	17人 (小学生10人・ 幼児2人)	八田・室崎・溝手・坂本・吉岡	台風が近づいていて午後には警報が出そう。室崎くんの「タペストリー紹介」から始める。子どもたちは虫の名前をよく知っていた。人数が少なかったのでゆったりと虫をはさんだお話ができた。(神戸市児童館派遣事業) 30年度の派遣事業参加者：5館で378人(小学生200人・幼児99人・大人5人・児童館スタッフ37人)
8月23日 (午後)	神戸市立有瀬児童館(西区)	台風の警報発令により中止	八田・室崎・溝手・坂本・吉岡	2019年3月27日に「むしのおえかき」を実施。
9月1日・2日	京都みやこめっせ	1日目：約1200人(フェア参加者：3800人) 2日目：約1750人(フェア参加者：5200人)	中谷(檀原)・中峰(箕面)・高津(伊丹)・久保・吉岡・前田慧・阪上・小林・室崎・宇野・川崎・溝手・坂本・渋谷(東海大)・中谷	こども☆ひかりプロジェクトの『ミュージアムキッズ!全国フェア』に佐用・檀原・箕面・伊丹の昆虫館連合も「スーパーむしむしたいけん」として参加。全国から80を超えるミュージアム・団体が京都に結集。たくさんの来場者を想定して多くのスタッフを配置して3つのカヤを張る。 人の流れをうまく誘導できなかったが、多くの人がむしさんを楽しんでくれた。 大勢で参加するとメンバー同士なかよくなれて、これも大変良かった。

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
9月22～ 23日	国立淡路青少年 交流の家（南あ わじ市）	97人 （子ども51人/ 31家族）	久保・池田・奥 井・室崎・中 本・脇村・吉岡	昨年に引き続き1泊2日の『AWAJIむしむしキャン プ』。参加者は各家族のペースで参加する。宿泊 もテント・ログハウス・宿泊棟と選択自由。今年も あつという間に定員になったそうだ。採った虫は種 名を書いて展示。トンボ採り、アリジゴク探し。夜 はナイターと天体観測。翌日はおえかき。夜、子ど もだけで歩いても安心な環境の中、十二分に家族で 楽しめるキャンプとなった。リピーターも多く大事 に続けていきたいプログラムだ。
10月13日	ひょうご環境体 験館（佐用町）	49人 （15家族）	中瀬・前田慈・ 室崎・溝手・吉 岡	早いもので6回目の実施。リピーターも多いので、今 年も「虫採り」メインの企画。まずは近くの草地に 集合。採集後、体験館へ行き「観察タイム」。じっ くり見ておえかきをする。テネラルの大学生たちが 子どもたちにやさしく虫採りを指導してくれ、好評 を得る。
10月11 日（午 前）	佐用町立南光保 育園	41人 （保育園児35 人）	久保・近藤・野 村・斎藤・吉岡	佐用町「いどうこんちゅうかん」秋の部。町内の幼 保7園をまわり終え、南光保育園は2回目の訪問。と ても元気な子供たちにダンゴムシが大人気だった。
11月1日	佐用町立三日月 保育園	41人 （保育園児36 人）	久保・近藤・野 村・斎藤・吉岡	近藤さんの「むしのおやこ」の紙芝居に子どもたち は大歓声。ここでもダンゴムシ人気はすごい。野村 先生のイモリコーナーにもおおよろこびの様子。先 生方も虫たちに興味津々だった。佐用町内で7番目の 「いどうこんちゅうかん」だったので先生方の期待 も大きかったようだ。
11月5日	神戸市立桃山台 児童館（垂水 区）	51人 （小学生45人・ トライやるウィ ークの中学生6 人）	近藤・吉岡	「むしのおえかき」も6年目。子どもたちの集中した 観察により今年もすばらしい382匹の虫ができてあ がる。6年前に学童として「おえかき」に参加した子 が「トライやる」でまた参加。続けているとこんなう れしいこともある。
3月27日	神戸市立有瀬児 童館（西区）	31人（小学生 28人：1～5年 生）	近藤・吉岡	夏の児童館派遣事業の「いどうこんちゅうかん」が 台風の警報発令のため中止。その埋め合わせの「む しのおえかき」です。生きた虫には会えなかったけ れどとても楽しかったようで「こんな集中している ところ見たことがない！」と児童館の先生に言わせ るほど。午後の2時間だけだったが楽しい時間とな った。

A-2 むしむしたいけん

兵庫県立人と自然の博物館主催のオープンセミナー「むしむしたいけん」を、共催した。

2018年8月11日（土）・12日（日）・14日（火）・15日（水）の4日間。会場は、三田市有馬富士自然学習センター。

参加者：629名。

B 地域の自然環境とまちづくりに関連する調査研究事業

B-1 昆虫雑誌「きべりはむし」の編集発行

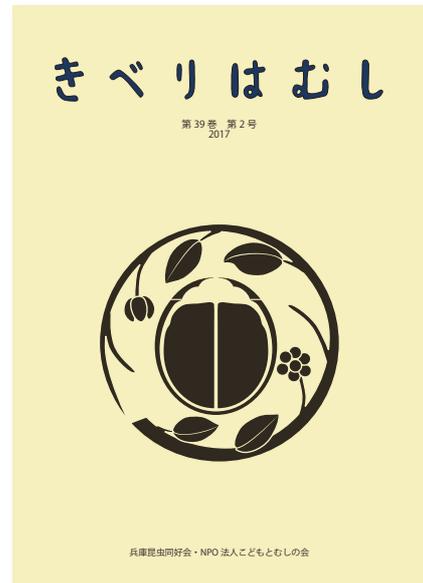
2018年度に発行した『きべりはむし』の概要

きべりはむし 第41巻 第1号

- ・2018年12月25日発行
- ・頁数35、報文7編、短報15編

きべりはむし 第41巻 第2号

- ・2019年3月25日発行
- ・頁数54、報文9編、短報5編
(中峰)



B-2 同好会誌のPDF化

すでに活動休止となっている兵庫県の昆虫同好会誌をPDF化し、こどもとむしの会のサイトに公開した。

てんとうむし（姫路昆虫同好会）、IRATSUME（但馬むしの会）、ひろおび（播磨蝶友会）の3誌を公開した。
(池田)

B-3 レッドリストへの協力

久保弘幸、八木 剛が、明石市のレッドリスト編集へ協力した。

C 昆虫館等の運営支援事業

C-1 佐用町昆虫館の管理運営

■入館者

昆虫館開館時の入館者数（記帳者数）は3,715人（開館55日）であった。平均入館者数は、67.5人で、前年の59.5人より多かった。これは、比較的利用者の少ない6月に工事休館となったためである。

改修工事のため、6月9日から7月16日の13日間、臨時休館とした。また、台風のための臨時休館は3日間（7月29日、9月29日・30日）であった。夏季の臨時開館は3日間（8月14日（月）～16日（水））とした。

■改修

佐用町により、館の屋根、外壁の改修工事が行われた。懸案であった雨漏りは解消し、エアコンの増設も行ったため、快適な空間となった。

■地元の利用

保育所1園の団体利用があり、貸切開館として対応した。

7月25日 三河保育園



■アウトリーチ活動

佐用町内の幼稚園・保育所を訪問し、昆虫に触れる体験を提供する「いどうこんちゅかん」を2日間、4園で実施した。

2018年の改修により、屋根や外壁、扉など、見違えるようになった昆虫館（2019年4月）

5月15日 利神保育園・上月保育園

10月11日 南光保育園・三日月保育園

7月22日（日）に開催された「ひまわり祭」に、『ふるさとの虫とあそぼう』コーナーとして出展した。このコーナーへの来場者は、カウントする間もないくらい忙しかったが、3000人はくだらないと思われる。利用者数一覧表には加えていない。

（野村）



むし納め（2018年10月28日）のようす

佐用町昆虫館の利用者数等

月	開館利用			閉館時利用			アウトリーチ			総計		
	開館日数	記帳者数	スタッフ数	日数	人数	スタッフ数	件数	人数	スタッフ数	一般利用者	スタッフ数	合計
4	10	424	56							424	56	480
5	10	475	41				2	96	10	571	51	622
6	2	105	12	3	64	8				169	20	189
7	3	310	14	1	25	6	1	300	5	635	25	660
8	11	1511	37	2	60	3				1571	40	1611
9	10	506	30				1			506	30	536
10	9	384	38	2	42	2	2	82	9	508	49	557
11												
計	55	3715	228	8	191	19	6	478	24	4384	271	4655

D 管理運営

会員・会議

- ・正会員41名、家族会員1名
- ・寄付金104,760円（日当寄付、過年度会費等）
- ・通常総会を、2018年（平成30年）6月16日（土）に、会員研修会を兼ねて、檀原市昆虫館で開催した。
- ・臨時総会を、2019年（平成31年）3月24日に佐用町昆虫館で開催し、公告方法に関する定款変更を行った。

10周年を機に、会員ミーティング等

10周年を機に、今後の運営方法を検討するため、以下のように会員ミーティングを行い、10周年記念行事の内容、施設整備（網舎の撤去）、会員制度のあり方等を議論した。

2018年10月28日（日）佐用町昆虫館 出席者：相坂、東、岡田、久保、近藤、末宗、竹田、内藤、野村、前原、茂見、八木

2018年11月23日（日）佐用町昆虫館 出席者：大江（学生）、越智（父子）、久保、近藤、末宗、竹田、中瀬、室崎(学生)、八木

2018年12月9日（日）佐用町昆虫館 出席者：大江（学生）、岡田、越智(父子)、久保、齋藤、末宗、野村、前原、室崎(学生)、八木

2019年（平成31年）1月27日（日）（役員会）兵庫県立人と自然の博物館 出席者：齋藤、末宗、中峰、八田、吉岡、八木

2019年（平成31年）2月23日（日）（第2回理事会）佐用町昆虫館 出席者：内藤、近藤、野村、金子、久保、齋藤、末宗、竹田、八田、吉岡、八木

むしむしサポーター

第2回理事会で「むしむしサポーター」の制度（会費無料、活動時の交通費支給等）を承認、同日規約を施行した。学生会員、家族会員は廃止し、むしむしサポーターへ統合する。

佐用町昆虫館10周年記念「むしむしまつり」

佐用町・佐用町教育委員会との共催で、さよう文化情報センターで開催することとした。



（左）総会兼会員研修会のようす（檀原市昆虫館）（右）会員ミーティングのようす（2018年10月佐用町昆虫館）